

# 心豊かな世代が育つ

## 童話の里づくり

429

―シリーズ― あなたの人權・わたしの人權

### 「権利」について考えたこと

塚脇小学校 5年

日隈 沙恵

道徳の授業で「権利の熱気球」という学習をしました。

最初、私は（どんな学習なのだろう）と思いました。私の心にとまっていたのは「権利」という言葉でした。

以前、権利についての学習はしていません。それは「子どもの権利条約」で、差別の禁止、生きる・育つ権利、表現の自由、教育を受ける権利の四つの大きな権利がもととなっていてきている条約です。

私たちには保障されている「権利」があることもその時初めて知りました。

このような権利が守られることがなぜ大切なのか、理由を考えてみました。

今の私は、全ての権利が守られていると思います。ところが、全世界

でみると、健康に成長できなかったり、十分な教育を受けられなかったりする子どもたちもいるということを知りました。

つまり、みんなが幸せになるには、この「権利」が守られなければいけないということがわかりました。

「権利」について考えたのはそれが最初でした。

今回は、その「権利」と「熱気球」がどうつながるのか興味がありました。

すると、十個の権利が示されました。私たちは、その十個の「権利」をもって熱気球に乗るといのです。

（何だかおもしろそうだな。）と思いました。ところが、熱気球がだんだん下がってきて、私たちの持っている「権利」を一つずつ手放していかなければならないということでした。

どれも手放したくないような「権利」でした。私はよくよく考え、

「自分や家族が平和で幸せに暮らせる権利」を最後まで残しました。理由は、家族がいればどんなことも乗り越えられると思ったからです。

（きつとみんな同じだろう）と私は思っていました。

ところがグループで交流すると、みんなそれぞれで、私と違う意見もたくさんありました。さらに、ほかのグループの発表を聞くと、いろいろな意見があることにびっくりしました。

私は、自分と同じ考えが多いだろうと思っていただけ、考えは人それぞれだということがわかりました。また自分とは違う権利を選んでいた人も理由を聞くと、どれも大切だと感じました。

この授業で色々な人の考えを知り、自分の思いだけでなく、友だちの思いも大切にしなければならぬことがわかりました。

私はミュージカルをしています。いつも（上手なところを見てもらおう）と思い舞台上立ち、発表するところが多かったのですが、今回の学習をして、少し考えが変わりました。

「上手なところ」だけではなく、自分たちの精いっぱい発表が見る人にいろいろ「思い」を伝えられ

ればいいなと思うようになったのです。それは、見る人によって感じ取れることはそれぞれ違ってもよいということなのです。

私が思ってもないようなことを感じ取ってくれる人もいます。いろいろな思いが見る人に届けばいいなと思っています。どんな思いが届いているか楽しみです。

そして、今私がミュージカルをすることができると幸せをかみしめながら、これからのミュージカルもがんばっていきたいです。

〈学年は投稿時の学年です〉

この人權作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別について気づいたことや感じたことを、二〇〇字程度にまとめてみましょう。住所、氏名、連絡先電話番号を記入して（匿名可）、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人權」までお届けください。

